



羽田 祐一

社団法人東北経済連合会評議員会議長

行動は4C思想で

4Cとは、Change(変化)、Chance(好機)、Choice(選択)、そしてChallenge(挑戦)の頭文字をとった4個のCのことです。日本をはじめ、世界は時々刻々と変化(Change)しております。その変化の中に好機(Chance)が沢山あります。ただし、いくら好機があっても、それを選択(Choice)しなければ始まりません。何を選択するかが非常に重要で、選択したら果敢に挑戦(Challenge)して成功に導くことです。即ち、4Cの思想を持って行動することが重要です。

現在、日本の大きな課題の一つは、少子化、高齢化であります。特に、東北地方は人口減少、高齢化が顕著で問題視されておりますが、見方を変えれば、この変化は大きなチャンスでもあります。

人口減少は1人あたりの土地面積が大きくなるために、活動範囲が広くなり、且つ自然の恵みを取り入れた環境にやさしい地域にすることが出来ます。環境にやさしい東北をベースに産業を発展させれば素晴らしい未来が開けてきます。

その1つは農産業ではないかと考えます。日本の食材は高品質、高信頼のために世界で高く評価されており、日本政府も農産業には力を入れようとしております。現在、日本の食料自給率は40%（東北地域は米作のお陰で104%ですが）で先進国では最低です。

東北地域は農産業での強みを生かし世界をリードする大きなチャンスではないでしょうか。その為には農産業の規制を緩和し、農業従事者、とくに若い人が喜んで働ける環境をつくり、国際交流支援策を積極的に推進し、国際社会と連携するとともに、お互いに競争ができる状況にすべきで、その点政府の役割は大きいと同時に農業関係当事者の意識改革も非常に重要です。

一方、高齢化でございますが、総務省によれば65才以上の人口は2,640万人で総人口の20.7%となり世界一になったとのことです。高齢化も見方によっては大きなチャンスでもあります。人間は年齢を重ねるに従って、体力が落ちる事により創造力は低下傾向になりますが、知識、経験等が豊富になり分別力は向上します。

最近、シルバーベンチャーが活発に行われており話題になっておりますが、シルバーの方は若者に比べて知識、経験が豊富な為に成功する確率が高いと言われております。

シルバーの知識と経験を活用し、若い人が魅力を感じるような農産物を創り上げ、世界に向けて発信すれば東北地域の農産業は大きく飛躍すると思えます。

農産業ばかりでなく、あらゆる産業において4Cは当てはまると思えます。世の中の変化を常に好機ととらえ、感性を持って取捨選択して果敢に挑戦していくことが産業を発展させるキーポイントであると思えます。

今後、日本は少子・高齢化が予想以上の速さで進んでいきます。定年で終わることなく、これをチャンスととらえ、分別力を持って最適事項を選択し、それに向かって挑戦していけば、明るい未来が見えてくると思えます。

(NECトーキン株式会社相談役 はねた・ゆういち)